

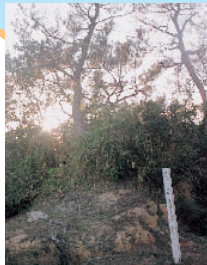
宜野座村 恩納村 金武町

なるほどマップ



なかどまりい せき
③ 仲泊遺跡(国指定史跡)

④ 比屋根坂石畳道(ひやごんびらいしだみち)
約3500年前の住居跡を含む6つの貝塚と、首里王府当時の石畳道が残っています。第3貝塚の岩陰住居跡は、柱穴や炉跡をのこした岩陰の住居です。また、石畳道は、小字比屋根原の琉球石灰岩丘陵を越えるため宿道で、東側傾斜地約98m、西側傾斜地約76.50m、道幅約3mが現存しています。県道ができる以前の明治末頃まで利用されていました。



ま え だ いちりつか
⑤ 真栄田の一里塚(恩納村指定史跡)

多幸山山中の宿道沿いに設置されている一里塚で、土を盛った上に琉球松を植栽して復元された土塚です。旅人の道案内の目安となった一里塚は、4kmごとに設置されていました。恩納村内で5箇所ありましたが、現存している一里塚は2箇所のみです。



② ナカユキ(中休み)

恩納村から名護市にかけて、旧道のカーブを直線道路に改良した際に残ったスペースを利用した駐車スペースがあります。恩納村の瀬良垣にある海岸沿いに緑の木陰に包まれたこのロードパークは海への眺めがよく、多くのドライバーの休憩施設として利用されています。



万座毛



歴史国道(仲泊地区)



カメの浜



① 対向車接近表示システム

このシステムは、見通しの悪いカーブにさしかかろうとするドライバーに対して対向車の存在を表示板によって知らせ、安全な道路交通を確保するものです。

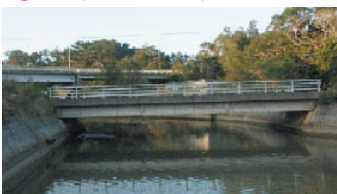


まつだ きこうじ
⑥ 松田の馬場跡

松田の馬場は現在の松田小学校の運動場にありますが、馬場が造成された年代の確定はありませんが、切り倒された琉球松の年輪から推定して1845年頃だといわれています。マツクイムシの影響により、現在、馬場周辺に残る琉球松は100本前後に減少してしまいました。



ぎのざかねく
⑦ 宜野座兼久橋



宜野座村漢那福地川を横断する宜野座兼久橋は以前は国道329号上でしたが、1986(昭和61)年に宜野座大橋が建設され、その役目をゆずりました。1987(昭和62)年に改修工事が行われ、現在は宜野座村道として人々に利用されています。



ブルービーチ 当山久三の碑



おくくび
⑨ 億首橋

億首川にかかる橋で、1948(昭和23)年に架けられました。その後補修を行い、国道改修工事で1981(昭和56)年に金武大橋が完成し国道ルートからははずれましたが、現在でも金武ダムへの連絡路等で利用されています。現在56歳。



かん な
⑧ 漢那ダム

公園や沖縄の自然環境や水の大切さについての展示がされているダム資料館なども整備された多目的ダムです。公園の湿地帯の自然ふれあい公園はめだかやトンボ、鳥類などの生息場所となっています。